

ごあいさつ

平素は、私ども中兵庫信用金庫に格別のご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。

ここにお届けします「中兵庫信用金庫の現況」は、2025年度の業務活動や業績の推移を中心に、地域とのかかわり等をわかりやすく編集したものです。ご高覧の上、〈なかしん〉に対するご理解を一層深めていただければ幸いです。

昨年度を振り返りますと、日銀のマイナス金利政策解除から1年が経過し、政策金利の引上げが行われ、金利上昇に伴う預金獲得競争が激化しました。また、日本初の女性総理大臣である高市首相が誕生し、同政権が掲げる「責任ある積極財政」の影響もあり、日経平均株価は連日史上最高値を更新し続けました。さらに、春闘賃上げ率も昨年度以上の伸びを記録するなど、日本全体で「インフレ経済への移行」が見られました。

このような環境のもと、当金庫はおかげさまで会員の皆さまからは変らぬご支援を賜り、当期純利益1,254百万円を計上することができました。また、経営の安全性・健全性の指標である自己資本比率は31.18%、自己資本額も613億円となりました。引き続き会員の皆さまやお取引先にはご安心いただけるものと思います。

2026年度に入りまして、世界経済は依然として不確実性が高い状況にあり、中東情勢の緊迫化による原油価格の上昇、物流網の混乱、為替の変動など、国際的なリスクが日本経済にも影響を及ぼしています。

これらは特に、地域の中小企業において、仕入コストの上昇や輸送費・エネルギー費の増加、価格転嫁の難しさに加え受注の変動や納期遅延といった形で現れており、依然として厳しい経営環境が続くと思われます。

当金庫としましては、将来にわたって地域やお客様とともに発展し続けるためにも、課題解決や各種ニーズへの対応を通じて、お客様の持続可能な経営や地域づくりに貢献するとともに、高い健全性を維持しつつ、地域金融機関としての経営基盤を更に確固たるものにしていく所存です。

今後とも、なお一層のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆さまのますますのご繁栄とご健勝を心から祈念申し上げます。

2026年7月



理事長 足立昌敏

あなたとまちと フェイス to フェイス

